

ファシリティマネジメントフォーラム2025
ヘルスケアFM研究部会

能登半島地震JMAT活動

—危機管理対策を考える—

埼玉石心会病院
危機管理対策課 平沼

ヘルスケアFM研究部会

医療・福祉・健康に関わる施設経営と運営の戦略を包括的に扱うヘルスケアFMの導入と普及



部会長：森 佐絵
清水建設株式会社
認定ファシリティマネジャー
一級建築士
医療管理学修士

● keywords ●
ヘルスケアFM 病院BCP BCP訓練 フリンジサービス ホスピタリティFM 医療DX

サマリー 活動テーマは部会発足時から一貫して変わっていないが、社会環境の変化に伴って部会員のニーズ、メンバー構成は変化している。その時々に合わせて研究活動を進めており、近年、メンバーの関心の高い病院BCP、医療DXを定例会の話題として情報交換し、また、各研究部会共通のテーマであるSDGs/ESGについてもレポートにもまとめている。

活動内容 1.ヘルスケア・病院FMに関する最新最良事例の研究_ヘルスケアFMの最新最良事例の調査研究、討議、外部有識者も含めた意見交換を通し、内部・外部ともに知見の強化を図る。
2.ヘルスケアFMのバリューアップのための情報交換_関連団体との連携を強化する。病院インハウスの部会員の増員により、実感と実体を持ったFMを目指す。活動を通して得られた知見は内外で共有することで、ヘルスケアFMの現場に還元し、医療福祉施設の経営活動の一助となることを目指す。
※定例会開催日程(原則) 平日17:00~18:30、月1回

成果 2022年度の活動を挙げる。①定例会部会 (ほぼ毎月開催) ②勉強会「埼玉石心会病院 地球にやさしいミーティング」へ発足趣旨と取組み紹介、「リアルタイムデータを活用したヘルスケアDX~コマンドセンターについて」(外部講師) ③秋の夜学校「医療福祉サービスに活用できるFMの考え方」 ④JFMAフォーラム&SDGsレポート執筆「病院におけるSDGsの取り組みに関する考察」 ⑤フリンジサービス勉強会(外部参加可) 4回開催 4月:救急におけるバーチャルリアリティを活用した教育教材 8月:QI活動の最新事情とこれからの方向性 10月:北里大学新病院の業務プロセスの可視化と改善 2月:ヘルスケアxMBT 住民に優しいまちづくりとテクノロジー
※研究成果の詳細を閲覧することが可能です: [「研究成果 他」の項目へ](#)

メンバー 部会長: 森 佐絵(清水建設)
副部会長: 平沼 昌弘(埼玉石心会病院)
顧問: 柳澤 忠 長澤 泰
部会員: 池田 宏城(オカムラ) 和泉 隆(帝京大学) 上田 嘉之(清水建設)
大関 匠(福井県済生会病院) 加藤 彰一(エフエムメトリクス)
加藤 哲夫(アイネット・システムズ) 木下 哲也(想和プランニング)
佐藤 公彦(日本空調サービス) 関谷 裕太郎(埼玉石心会病院)
長崎 大典(新日本科学) 能勢 恵嗣(イトーキ) 原山 坦(個人)
古川 輝直(寺岡記念病院)
アドバイザー: 小室 克夫(聖路加国際病院) 中山 茂樹(千葉大学)
事務局: 森田 優子(JFMA)

2024年度のテーマと活動内容 【活動計画】

メインテーマ

医療・福祉・健康に関わる施設経営と運営の戦略を包括的に扱うヘルスケアFMの導入と普及

活動計画

- ヘルスケア・病院FMに関する最新最良事例やテーマの研究
 - ① 病院のDX: 業界動向や事例の研究。2ヶ月毎の分科会(フリンジサービス研究会)にて、外部情報に触れる機会を部会員で共有する。
 - ② ヘルスケア施設のBCPについての研究
 - ・能登半島地震でのヘルスケア施設の対応について、部会員が関係する施設および他施設の参考情報を共有する。
 - ③ ヘルスケア施設のSDGsへの取組みについての研究: ・病院の第三者評価機関の評価項目から、SDGsを切り口とした内容や事例について研究する。
- ヘルスケアFMのバリューアップのための情報交換
 - (ア) 病院FMerの業界内プレゼンス向上と、部会員の情報共有を目標に情報交換、意見交換を行う。
 - (イ) 年度内で2回を目安に、外部から講師を招いて部会内のセミナーを開催し、部会員の知見を広げることに貢献する。
 - (ウ) 関連団体との連携強化: 医業経営コンサルタント協会・医療福祉設備協会・医療福祉建築協会等の関連団体との連携を強化する。

病院初の災害派遣

期間 2024年2月4日～9日

隊員 6名（医師1、看護師1、救命士2、事務1）

移動 車両2台

活動 JMAT調整本部（石川県庁）



- ▶ 当初、能登半島中部～北部の被災地活動の予定であったが、本部統括の重要性（機能維持）から、埼玉県隊・北海道隊で本部に専従することとなる
- ▶ 本部は、金沢以南支部を兼ねており、被災地活動に移行となる場合もあるとのことで、**重装JMAT**仕様で車両にて現地入り
- ▶ **病院初の災害派遣**→**緊張・興奮状態**→ **いかに冷静に急ぐか？**

JMAT概要

名称 日本医師会災害医療チーム

目的 災害急性期以降の被災地の地域医療回復支援全般

- ▶ 都道府県医師会（石川県）から日本医師会に派遣要請
都道府県医師会毎に編成して派遣
- ▶ 隊員資格は特になし ⇔ DMAT（訓練を受けた隊員が登録）

活動指針

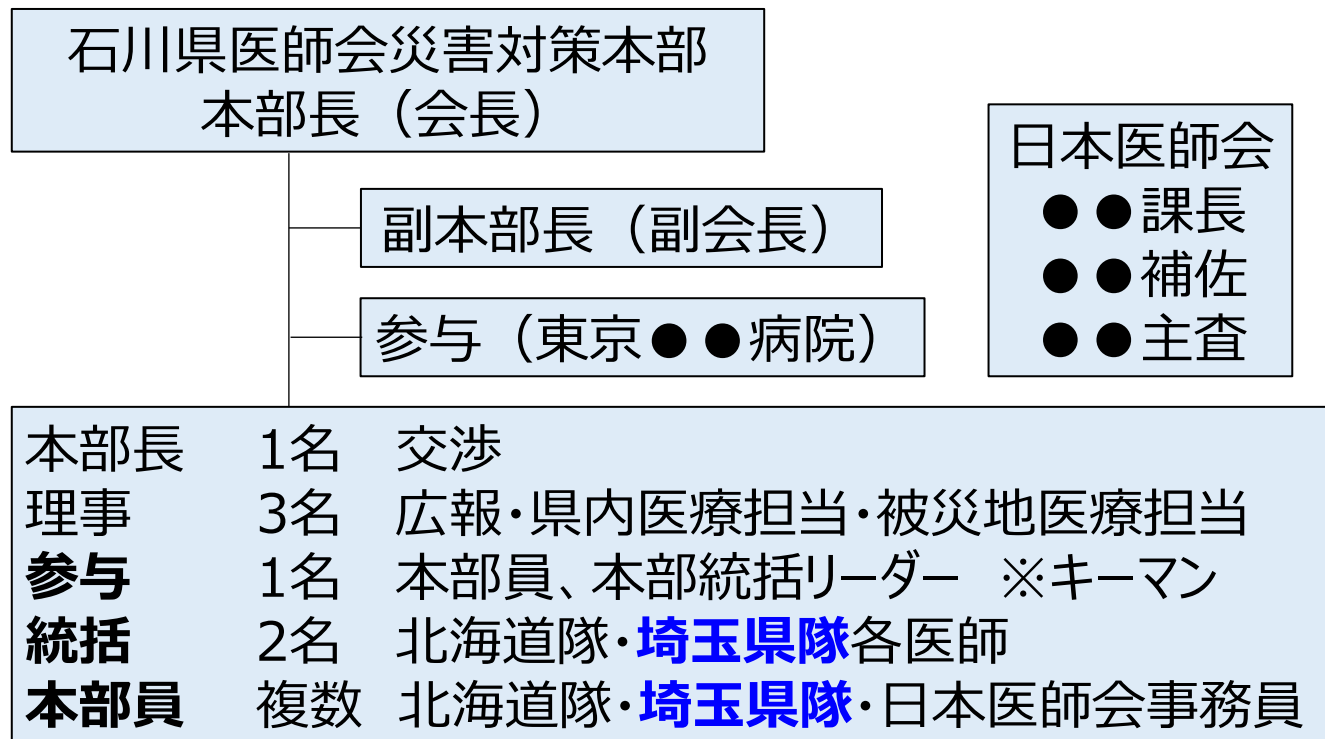
第1目標：被災地の診療支援

第2目標：被災地医師との協働による、避難所、施設等巡回

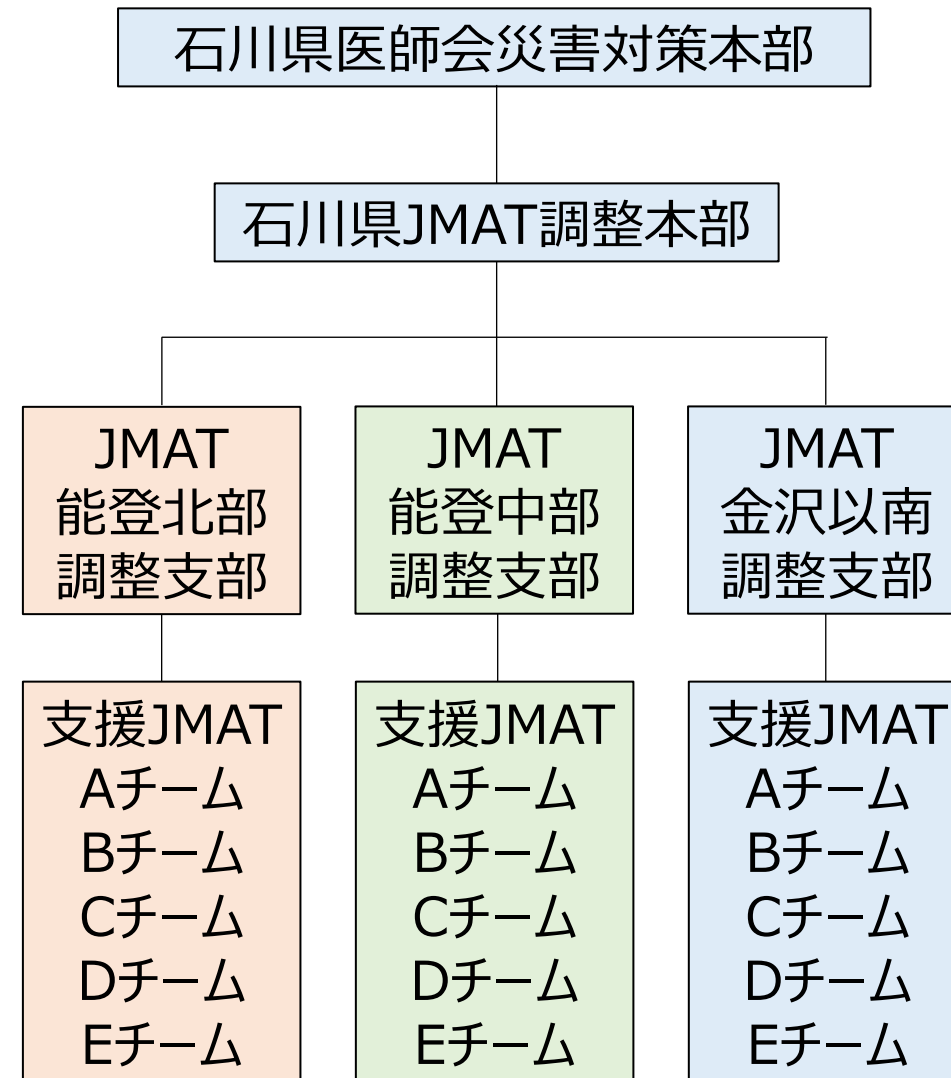
第3目標：地域行政と連携し、避難所支援や調査、被災地域の病院（拠点病院）の診療支援等

JMAT調整本部

石川県庁内



- ▶ 人員、装備、現地活動日数の違い
- ▶ 各都道府県単位で必ずしも活動が標準化されている状況にはない



先発隊報告 能登北部～中部（1/21日時点）

項目/地域	北部 珠洲	北部 輪島	北部 能登	中部 穴水	中部 その他
活動	病院支援・搬送 施設巡回 避難所支援	病院支援・搬送 孤立集落支援 避難所支援	病院支援・搬送 施設巡回 避難所支援	病院支援・搬送 施設巡回 避難所支援	搬送 施設スタッフ支援
宿泊	施設雑魚寝 病院宿泊（寒）	病院・中学校床 車中泊推奨せず 自力確保推奨	病院・役場床 車中泊	※七尾市➡ ※富山県高岡➡ 往復5～6H	金沢市内ホテル 富山県内ホテル
トイレ	断水 （凝固剤） 一部仮設トイレ 一部トイレカー	下水× 一部仮設トイレ 簡易トイレ推奨	一部仮設トイレ	断水 （凝固剤）	断水 （凝固剤）
食事	要持参	要持参 コンビニ往復4H	要持参	要持参	金沢市内購入可 富山県内購入可
ガソリン	利用可	利用可	利用可（日中）	利用可	利用可
交通 （移動）	穴水➡2H以上 ※通常1H	穴水➡2H以上 ※通常30分 悪路・スタック増	金沢➡4～5H ※通常2H 土砂崩れ多数	金沢➡3H ※通常1.5～2H	金沢➡1～2H 富山➡1～2H ほぼ渋滞なし

先発隊報告 能登北部～中部（1/21日時点）

項目/地域	北部 珠洲	北部 輪島	北部 能登	中部 穴水	中部 その他
通信	携帯電話○ 衛星電話○	携帯電話○ 一部不可	携帯電話○ 衛星電話○	DoCoMo △ 衛星電話○	携帯電話○ 衛星電話○
ゴミ	持帰り必須	持帰り必須	持帰り必須	持帰り必須	持帰り必須
その他	防寒対策 暖房設備があってもストーブのみ（僅か）、建屋内宿泊であっても床に雑魚寝など 車両関係 冬用タイヤ、チェーン、 パンクに対応出来る装備、駐車場所（⇔現地被災者場所）				

自己完結的備え

車両関係	夏タイヤ・除雪、脱輪用品・給油ポイント事前調査
食事関係	麺類、汁物・野菜缶・熱源（プレミアムCB缶、OD缶）
衛生関係	折畳便座・トイレ用テント・処理剤・感染対策用品
事務関係	ノートPC、プリンター、ポケットwifi（3社切替）

▶ 食事・排泄は快適にプライバシーも確保したい（個人用テント）



簡易トイレ・非常用

防災グッズ 組み立て簡単 一人/多人数家族



WiFiレンタル
MOBILE PLANNING

AIR-1

SoftBank ドコモ au 楽天 4キャリア対応

WiFi(レンタル)第1位
年間ランキング

データ容量
100 GB/月 (日本制限なし)

プラン
30 日



step 1 水と洗剤を入れる

step 2 洗たく物を入れチャックをする

step 3 もみ洗いまたはつけ置き

step 4 すすぐ



宿泊場所確保

当初予定

出発：1月20日頃

活動：能登半島中部～北部

宿泊：①**七尾**（**断水**、宿泊のみ）
②**高岡**（通常営業）

▶ いずれも大部屋1室、雑魚寝

最終確定

出発：2月4日

活動：JMAT本部（石川県庁）

宿泊：③**金沢**（通常営業）

▶ 飲食店、現地調達も出来たが…



2月4日出発

移動：7時30分発～15時着

給油：富山（往）、長野（復）



金沢市内状況

- ▶ ライフライン正常
- ▶ ホテルは被災者、支援者で満員
- ▶ 縮小傾向 ➡ 救助関係（消防）
- ▶ **増強傾向 ➡ 警察、水道、廃棄物等**

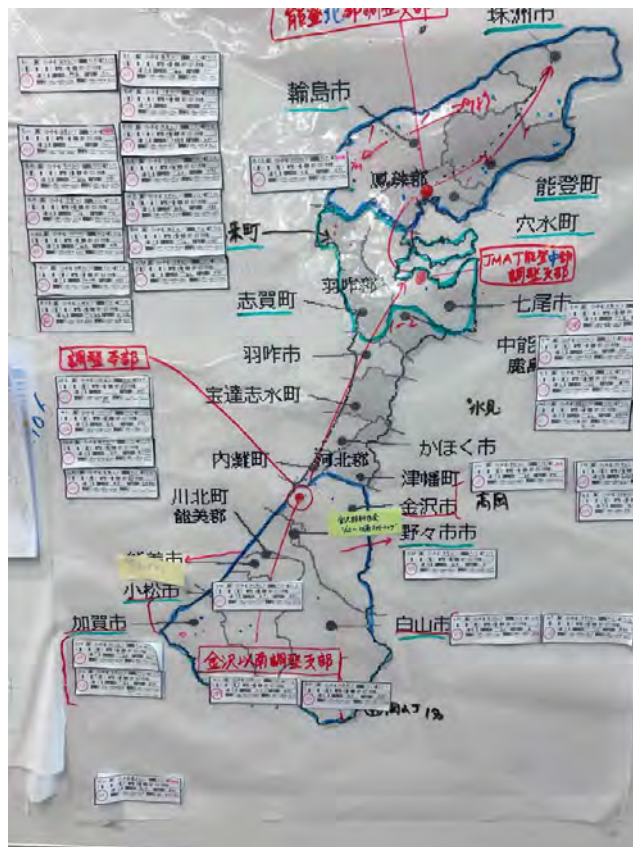
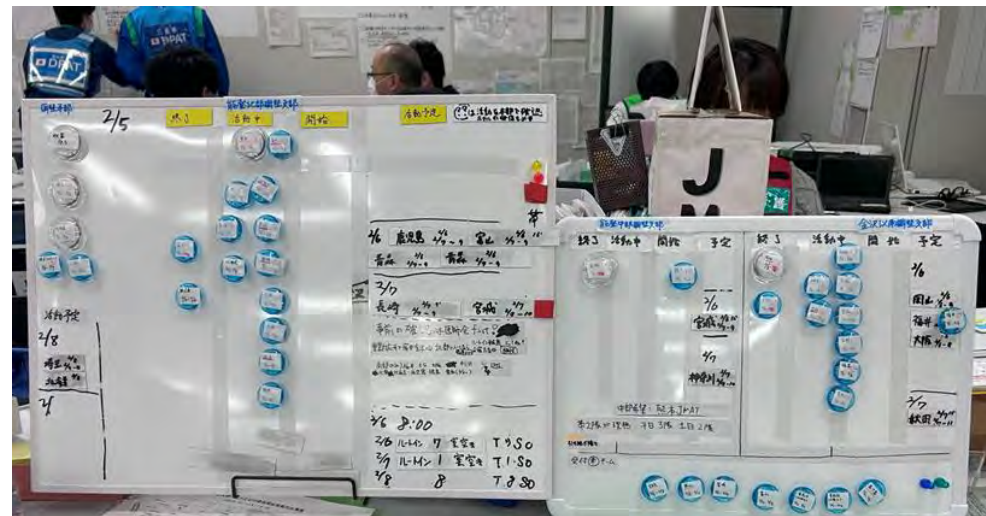


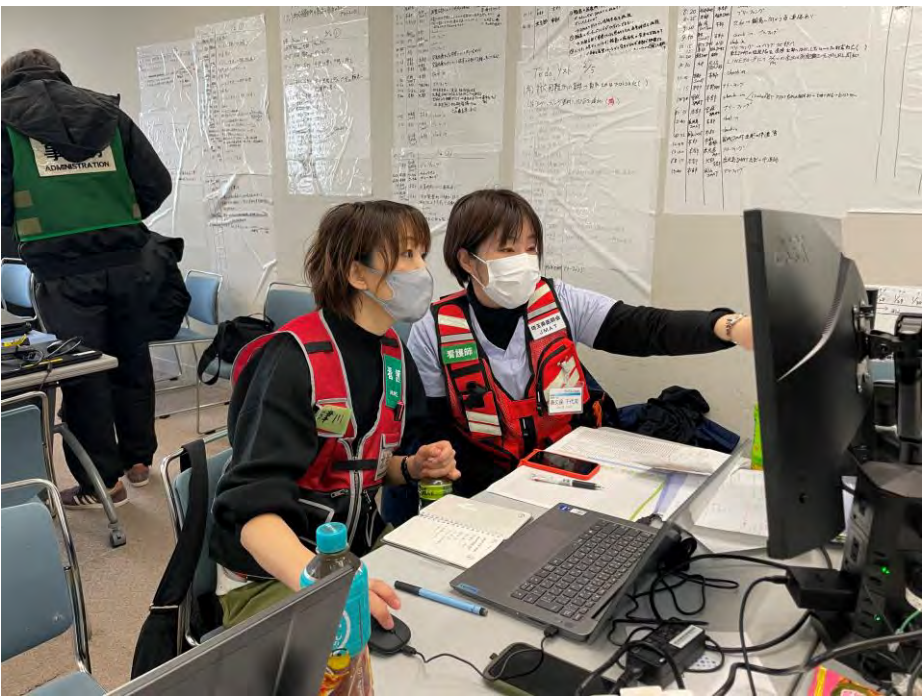
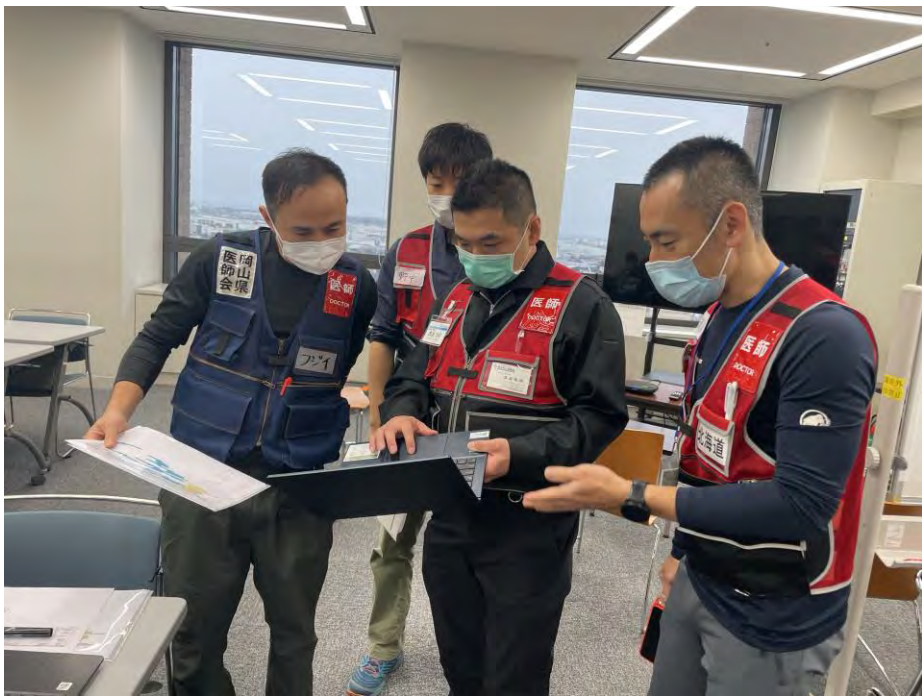
JMAT調整本部



活動内容（当院チーム）

1. 部隊指揮・配置・連絡
2. 派遣隊受付・ブリーフィング
3. 情報収集・分析・施設カルテ

[illegible]



情報収集→施設カルテ作成→分析

- ▶ 支援JMAT隊の活動日報より収集
- ▶ 避難所、施設単位で緊急度を決定
- ▶ 翌日以降の部隊数、配置を決定

内容	内容を入力				
施設名	緊急度	すでに介入しているチーム		プラン	次回評価
		☐ 保健所 ☐ JRAT (リハ) ☐ 消防 ☐ ボランティア	☐ DICT (感染) ☐ DPAT (精神) ☐ 警察 ☐ わからない	継続観察	1日以内
内容	内容を入力				
施設名	緊急度	すでに介入しているチーム		プラン	次回評価
		☐ 保健所 ☐ JRAT (リハ) ☐ 消防 ☐ ボランティア	☐ DICT (感染) ☐ DPAT (精神) ☐ 警察 ☐ わからない	継続観察	1日以内
内容	内容を入力				
施設名	緊急度	すでに介入しているチーム		プラン	次回評価
	高	☐ 保健所 ☐ JRAT (リハ) ☐ 消防 ☐ ボランティア	☐ DICT (感染) ☐ DPAT (精神) ☐ 警察 ☐ わからない	継続観察	1日以内
内容	内容を入力				
施設名	緊急度	すでに介入しているチーム		プラン	次回評価
		☐ 保健所 ☐ JRAT (リハ) ☐ 消防 ☐ ボランティア	☐ DICT (感染) ☐ DPAT (精神) ☐ 警察 ☐ わからない	継続観察	1日以内
内容	内容を入力				
施設名	緊急度	すでに介入しているチーム		プラン	次回評価
		☐ 保健所 ☐ JRAT (リハ) ☐ 消防 ☐ ボランティア	☐ DICT (感染) ☐ DPAT (精神) ☐ 警察 ☐ わからない	継続観察	1日以内
内容	内容を入力				
施設名	緊急度	すでに介入しているチーム		プラン	次回評価
		☐ 保健所 ☐ JRAT (リハ) ☐ 消防 ☐ ボランティア	☐ DICT (感染) ☐ DPAT (精神) ☐ 警察 ☐ わからない	継続観察	1日以内
内容	内容を入力				

[illegible]

チーム名	担任者名			連絡先	担当者名
活動日	活動地域			TEL	
活動支部名	（任意）活動内容			E-mail	
施設名	緊急度	すでに介入しているチーム	プラン	次回評価	
		☐ 保健所 ☐ DICT（感染） ☐ JRAT（リハ） ☐ DPAT（精神） ☐ 消防 ☐ 警察 ☐ ボランティア ☐ わからない	継続観察	1日以内	
内容	内容を入力				
施設名	緊急度	すでに介入しているチーム	プラン	次回評価	
		☐ 保健所 ☐ DICT（感染） ☐ JRAT（リハ） ☐ DPAT（精神） ☐ 消防 ☐ 警察 ☐ ボランティア ☐ わからない	継続観察	1日以内	

【FA-SYS（ファースィス）（マップ）の更新】

1. カルテを更新したのち、マップも修正する。

必ず修正する箇所は「最終訪問日」。カルテの緊急度（＝状態）が変更になったら「トリアージ区分」も合わせて修正する。

マップの右下の「えんぴつ」マークを押下すると編集できるように切り替わるので、最終訪問日、必要であればトリアージ区分を修正し、保存する。

管轄「金沢以南」に「その他/値なし」に分類されている避難所は、2月1日に新規に登録された避難所であり、地図上マッピングしただけで、カルデ情報が紐づけされていない。
 そのため、カルデを新規に作成したら、「最終訪問日」、「トリアージ区分」に加え、カルデURLも追記して保存する。



- ## 2. FA-SYS上にマッピングがない場合

施設名で検索したとき、Googleマップ上のマッピング（黄緑色のピン）はあるが、施設として登録したマッピングがない場合、Googleマップ上のマッピング（黄緑色のピン）を地図上に登録する。

④ 左 Googleマップ上のマッピングが下記のとおり表示される。左下の「地図に追加」を押下する。

1右 表示が右側のとおり変わるので、編集ボタンを押して内容を記入する。



本部スケジュール

- 8:30 DMAT金沢以南避難調整会議
- 9:00 DMAT会議（内部）
- 13:00 医療対策調整会議
- 13:00 金沢以南保健医療福祉調整
- 16:00 石川県庁災害対策本部会議
- 17:30 石川県南避難所調整会議
- 18:00 DMAT会議（全体）
- 18:30 JMAT本部・支部全体会議
- 火曜日 日本医師会石川県調整本部連絡会議
- 火曜日 石川県医師会郡市区医師会連絡会議
- 月水金 JMAT・DMAT会議

活動時間 12時間程（概ね7時30分～20時頃）



振返り

本部活動

- ▶ **CSCATTT**（いかに調整、コントロールが出来るか？）
- ▶ 本部統括業務を経験出来る可能性は極僅か（貴重）
- ▶ **活動が途切れないこと、どこまで標準化、システム化出来るか？**

JMAT課題

- ▶ あれもこれもやろう ➡ 現場の希望と違う、引継ぎ出来ていない
- ▶ JMAT指針・目的 ➡ チーム独自の解釈、活動目標？
- ▶ 派遣チーム構成 ➡ 本部隊は、事務系が多いと尚良
- ▶ ICT環境整備 ➡ （例）EMIS ※アナログ運用含めて

はき違い

×何か成し遂げてくる（成果） ➡ **寄添う気持ち**